

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・渋谷区という都心にある保育園だが、散歩に出ると代々木公園など自然に触れられる公園が多くあり、子どもたちは季節毎に身近な自然に触れて興味関心を深めている
- ・様々な事への探求心が深く、活動への興味を持って意欲的に関わる姿が多く見られる

2. 活動スケジュール

春 散策を楽しみながら身近な植物に触れて楽しむ

夏 夏野菜を育て観察しながら成長の様子に興味を持つ

遊びを通して風の動きや変化に興味を持って遊ぶ

秋 身近な自然物に触れて遊び込む

冬 講師を招いてこれまでの活動を深めながら自然に触れたり、探求を深めていく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・自然に多く触れられる代々木公園に散歩に出掛ける
- ・自然ビンゴ ・折り紙 (あらかじめ接着面に両面テープを貼っておく)
- ・サインペン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・講師の先生と共に代々木公園にでかけ、自然探しビンゴに取り組む
- ・ビンゴを通して触れたり発見したものを紹介しながら様々な自然物への探求を深める
- ・見つけた物の中から葉っぱの種を飛ばし、動き方に興味を持つ
- ・折り紙などを使って種を模倣したものを作り、形の違いやその動きの違いを知る

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

講師の導入により活動への興味が大きくなっていくのが感じられる中自然ビンゴが始まる。はじめはいつものあそび場の中から何を探したらよいか分からず戸惑う場面もあったが、大人がヒントを出したりしていくうちに目線が変わり視野が広がっていった。友だちの「〇〇見つけた！」の声にも興味を示すが同じものにするのではなくそれとは異なるものを探そうという姿もあった。様々なビンゴの結果を知らせ合う中、身の回りの自然に興味広がっていくひとときとなった。

最後に見つけた葉の種を空に飛ばして動きを見せながら、折り紙などを使って様々な種の形や空中での動きを紹介してもらいみんなで楽しみながら投げる力の使い方や空中での動きの変化を観察していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

いつもの遊び場である公園が様々な自然の発見の場であることに意識が変わっていた。「何だろう?」「不思議だな」という興味もち、講師の話に集中する姿を見る事ができた。自然に関することだけでなく、普段の保育でもいかに子どもの興味関心に繋げるかが大切であることに改めて気付かされた。夏頃から風の動きに興味を持って活動してきたので、飛ばすものの形によって空中での動きが変わることを知り、色々試したい気持ちが大きくなっている。